

原子力学会主催 敦賀エネルギーセミナーに参加いただいた
敦賀気比高校でのフォローアップ

原子力学会（学生連絡会、再処理リサイクル部会）主催

実施日：平成 17 年 7 月 11 日(月) 14：00～15:00

場所:敦賀気比高校

参加者:

(敦賀気比高校 2 年生)

竹本学司さん、丸山哲士さん、
三浦雅さん、寺内真奈美さん、
武田和也さん、岸下裕輔さん
依藤貴司先生、堂野吉央先生

(敦賀気比高校教諭)

(原子力学会 再処理リサイクル部会)

天野 治

(原子力学会 学生連絡会)

川岸 礼佳

(協力 サイクル機構)

塩谷正一、北端琢也

敦賀気比高校は私立で設立から 20 年目

甲子園出場の常連高校で、10 年前、今でも県内 1、2 位

狙い：原子力学会の天野です。6 月 13 日の敦賀エネルギーセミナーにご参加いただきありがとうございます。21 世紀に活躍される皆様に参加いただいたことは、非常によい機会だと思います。

21 世紀は、苦しい時代になる。それは、有限な地球が支えきれない人口とこれまでの遺産の石油、天然ガスをいいほうから半分も使ってしまったからである。それを正直に話し、皆様と共有することが大事です。シニアは人生の前半は戦争体験があり悲惨だったが、後半は安楽に過ごせる。若い学生諸君は、これからが大変。それを実感することがまず大切です。次にどのように備えるかを考えることです。それは、生活様式の変更もふくめてです。

進め方：6 月 13 日の敦賀エネルギーセミナーでの石井東大名誉教授と竹内前原子力委員の講演のポイントを川岸さんより、復習をこめて、簡単に紹介。その後、討論するテーマ毎に高校生の率直な感想を述べてもらう。



1. 学生さんからの敦賀エネルギーセミナーの感想

- A : 石油がなくなる。新しいエネルギーの開発が必要。見通しが出るまで悲観的になる。
- B : 日本で石油が取れるわけではないので、実感がわからないが、考えることが必要。
- C : 真剣に考えないとまずい状況になりそう。
- D : ニュースでも石油が高くなっている。もうすぐなくなる？
- E : いわれても、実感がわからない。
- F : 医薬品がなくなる。世界的に一大事。エネルギーの面、石油に頼っている。

2. 石油は、米国では7割が輸送、日本は4割がガソリンなど輸送用に使われている。さて、21世紀、どうしようか。皆さんの意見は？

- A : ガソリンからハイブリッドに
- B : ガソリンから脱却すべき。代替の開発を急ぐべき
- C : 車を持つ人が少なくなる。一人一台から一家に一台に。
- D : 公共の交通機関、バスなどを利用する。
- E : 10年、20年 今の状態は変わらないのでは。
- F : 水素や電気で走る自動車の開発。



3．学生からわれわれの世代へ要望は

- A：世界が仲良くしてほしい。
- B：技術開発、研究開発を熱心にやってほしい。
- C：省エネの技術開発と一般の人の意識を変えてほしい。
- D：原子力が反対されないように、運用、研究開発をしてほしい。
- E：クールビズもいいが、もっとでっかい効果のあるものを出してほしい。
- F：技術開発、エコ関係の開発を

4．石油が使えなくなることによってどんな影響が出ると思うか

- A：環境問題が減っていく。
- B：石油がなくなることによって、クリーンになる。
- C：昔のものが見直される。
- D：石油ベースのものができなくなる。
- E：石油代替の研究開発が加速
- F：昔の生活に戻る。



5. エネルギーとしての石油の代替は、原子力と考えるが、原子力への感想は。

- A：いろいろ報道されているが、問題はない。
- B：夢のあるエネルギー、クリーンなエネルギー
- C：原子力は危険ではない。100%安全なものはない。
- D：風力に比べて、原子力はパワフル、あったほうがよい。
- E：原子力は安全を追求してきた。安全面を向上させ、地域に知らしめる。
- F：原子力は新しいエネルギー、安全性は確保できている。

6：原子力発電は、社会に認知されつつある。次の技術の六ヶ所再処理工場、もんじゅをどう思うか。特に身近なもんじゅへの感想は。

- A：安全を社会にPRして、日本全土に増やす
- B：敦賀の地元は理解している。外に発信することが大事。
- C：特定の場所に立地が偏りすぎている。
- D：事故が起きていないところも、未然に改善する。
- E：もんじゅの事故のイメージが強い。安全、信頼を継続する。
- F：国民全体の理解が必要。少なくとも事故を起こさないように。

6. 原子力発電と同等な市場の大きさの放射線利用、どのように思うか。医学、工学のほかに農業分野でも。

- A：興味を示して生きたい。
- B：社会にとって有益なら、マイナス面も発信すること。
- C：放射線がメリットがあるなら、もっと活用すべき。

D：体への影響が心配

E：放射線の影響がわからなければ、使わないほうがいい。

F：放射線のイメージがよくない。

7. 二人ずつで討論し、その結果をまとめて発表（先生も加わる）

悲観論になるが、新しいものをプラス面で捕らえること。

悲観論、公共機関に頼るか。敦賀には、それほどバス路線がない。

悲観論、次に何をするか。意識をもつ、大きく変わる時期。

代替エネルギーがはっきりしていないので、不安である。今までの生活は、石油という地球の貯金を使ってきた。貯金がなくなる状況である。いいものを長く使う。技術面と人の育成が大事。